

# 令和4年度一般会計予算

# 291億2,000万円

財務課 ☎43-5210

## 一般会計歳出(性質別)

項目	予算額	構成比
物件等	51億5,380万円	17.7%
人件費	48億908万円	16.5%
補助費等	47億3,914万円	16.3%
普通建設事業費	39億5,085万円	13.6%
公債費	33億2,602万円	11.4%
扶助費	31億1,830万円	10.7%
繰出金	21億8,432万円	7.5%
その他(注)	18億3,849万円	6.3%
合計	291億2,000万円	100.0%

(注) 維持補修費、予備費、積立金、投資・出資・貸付金、災害復旧事業費

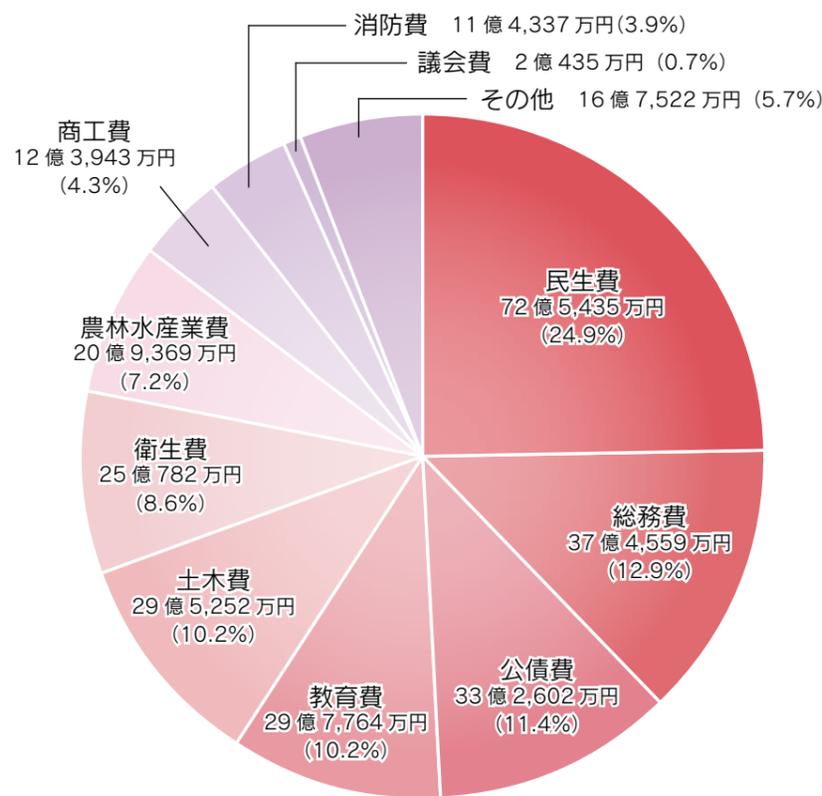
**◆歳出**  
 民生費は、生活保護費などの扶助費の増がある一方で、私立認定こども園施設整備事業補助金や各特別会計繰出金の減により、前年度と同程度の72億5,435万円となっています。  
 土木費は、下水道事業補助金や治水総合対策事業費の減がある一方で、グリーンベルト設置事業費、道路河川の環境整備事業費、排水対策事業費に重点投資することで29億5,252万円と昨年度よりも増額となっています。  
 商工費は、キャッシュレス決済導入および消費喚起促進業務委託料やサテライトオフィス整備工事費の減がある一方で、大鳴門橋周辺環境整備事業費や灘黒岩水仙郷リニューアール事業費の増により、昨年度より大幅増の12億3,943万円となっています。

**◆歳入**  
 市税は、個人住民税において前年度は新型コロナウイルス感染症の影響による減収を見込んでいましたが、令和4年度は平年並みに回復すると見込んだことに加え、固定資産税の新型コロナウイルス感染症の影響による減免・軽減措置が終了したことにより増額となり、全体では55億5,450万円となっています。  
 地方交付税のうち普通交付税は、3億円増の83億5,000万円となっています。これは、市税や各種税交付金等の収入額の増が見込まれる一方で、代替財源である臨時財政対策債への振替額が6億5,000万円減となったためです。  
 市債は、小中学校大規模改造事業や県営ほ場整備事業が国補正予算により令和3年度に前倒しとなったため減額となり、35億9,560万円となっています。

令和4年度は政策の柱である「五つの行動」のさらなる発展・深化による「子育ての喜びが見えるまち」の実現をめざします。「五つの行動」に基づく事業のうち、「通学路などの安全・安心」「移住・定住の促進」「観光振興の条件整備」に対し予算を重点的に配分したことに加え、ポストコロナ社会における取り組みに必要な事業費を計上したことにより、一般会計予算額は291億2,000万円となりました。

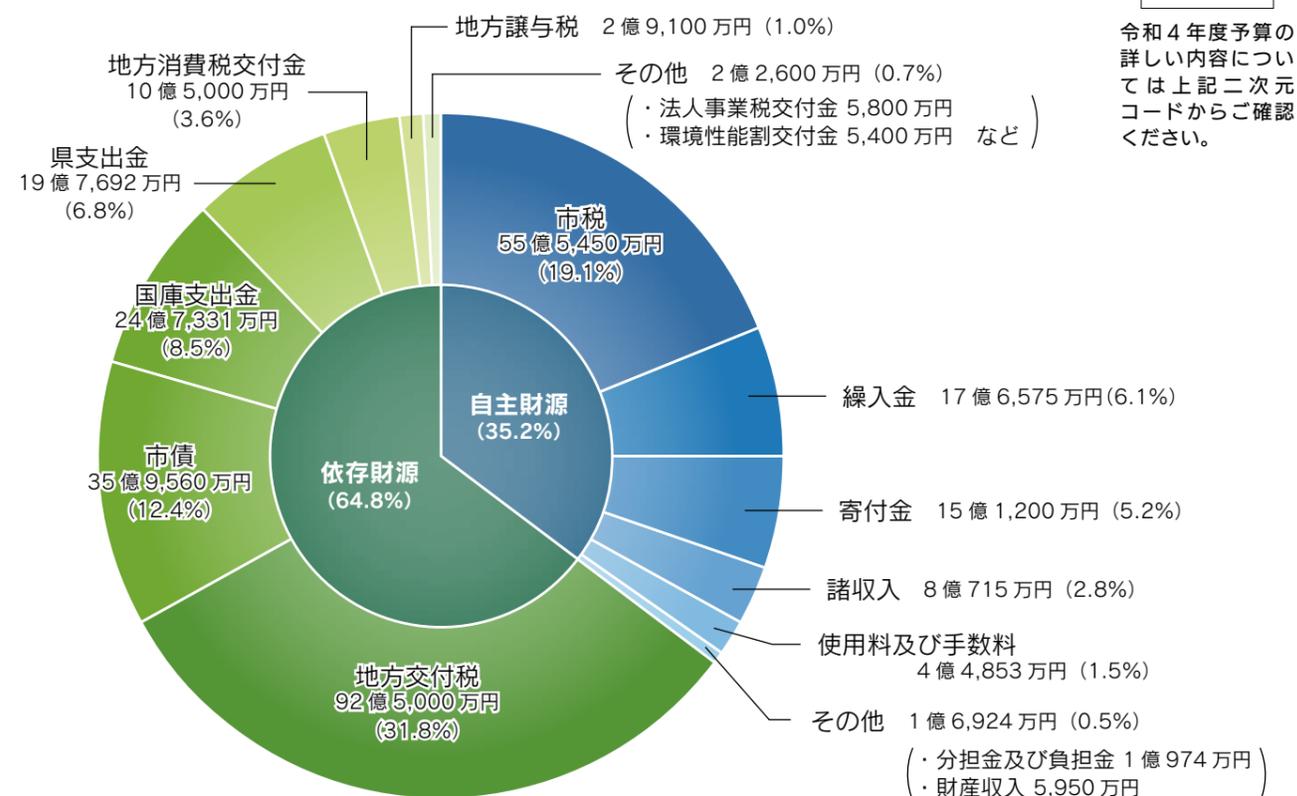
## 歳出 291億2,000万円

※( )内は構成比



## 歳入 291億2,000万円

※( )内は構成比



令和4年度予算の詳細な内容については上記二次元コードからご確認ください。

## 特別・企業会計

項目	予算額	前年度比
国民健康保険	65億2,747万円	-0.9%
後期高齢者医療	7億3,670万円	-0.3%
介護保険	50億531万円	-1.0%
土地開発	365万円	0.0%
産業廃棄物最終処分	5,698万円	-40.7%
国民宿舎	1,836万円	-17.7%
下水道	58億4,707万円	+14.2%
財産区4会計	2,356万円	+51.8%
合計	182億1,910万円	+3.3%

## 基金(貯金)残高の見込み

	令和4年度末	市民1人当たり
一般会計	118億1,405万円	25万8,900円
特別会計	17億4,950万円	3万8,300円
企業会計	0万円	0円
合計	135億6,355万円	29万7,200円

## 市債(借金)残高の見込み

	令和4年度末	市民1人当たり
一般会計	339億9,124万円	74万4,800円
特別会計	1億381万円	2,300円
企業会計	256億12万円	56万900円
合計	596億9,517万円	130万8,000円

※市民1人当たりの額は、令和4年2月末住民基本台帳人口45,636人で算出

### 歳出内訳の用語解説

① 民生費 高齢者福祉や少子化対策など  
 ② 総務費 一般事務経費や市役所の管理など  
 ③ 公債費 借入金(市の借金)の返済金  
 ④ 教育費 幼稚園や小中学校の整備、文化・スポーツ等の振興など  
 ⑤ 土木費 道路や河川・公園の整備・管理など  
 ⑥ 衛生費 保健衛生やごみ処理など  
 ⑦ 農林水産業費 農林水産業の振興、ほ場整備、鳥獣被害対策など  
 ⑧ 商工費 地域商工業の振興、観光事業の促進など  
 ⑨ 消防費 防災対策や市消防団による消防・救急活動など  
 ⑩ 議会費 議会の運営など  
 ⑪ その他 労働費、諸支出金、災害復旧費、予備費など

### 歳入内訳の用語解説

◆ 自主財源 (35.2%)  
 皆さまに納めていただく市税や施設使用料など、市が独自で調達するお金  
 ① 市税 市民税や固定資産税など  
 ② 繰入金 基金(市の貯金)の取り崩しなど  
 ③ 寄附金 ふるさと納税など  
 ④ 諸収入 貸付金元利収入や預金利息など  
 ⑤ 使用料及び手数料 公共施設の使用料など  
 ⑥ その他 分担金及び負担金、財産収入など  
 ◆ 依存財源 (64.8%)  
 地方交付税や国・県支出金など、国や県から市に入ってくるお金  
 ① 地方交付税 地方の財源の均衡を図るため国から交付されるお金  
 ② 市債 事業をする際に銀行等から借りるお金  
 ③ 国庫・県からの補助 地方消費税交付金 地方消費税の一部を財源として、県から交付されるお金  
 ④ 地方譲与税 国税として徴収され、一律的に譲与されるお金  
 ⑤ その他 法人事業税交付金などの交付金